

## 参考資料

- 1．環境効率性を表す指標の活用事例
- 2．異なる環境負荷指標を統合した指標の活用事例

# 1. 環境効率性を表す指標の活用事例

分類	指標名	業種	分子	分母	表示方法	単位	算出式	
単位環境負荷当たりの製品・サービス価値（環境効率指標）	エネルギー	省エネルギーに係る環境効率	医薬品	付加価値	エネルギー使用量	絶対値	億円 / 万GJ	(営業利益 + 研究開発費) / エネルギー使用量
		資源投入量当たりの売上高	電気機器	売上高	資源投入量	絶対値	円 / t	売上高 / (資材購入量 + エネルギー使用量) × 資源投入係数
	資源	環境経営指標	金属製品	売上高・利益	資源消費	絶対値	%	売上高・利益 (= 企業価値) / 資源消費 (指数)
		化学物質購入量当たりの売上高	電気機器	売上高	化学物質購入量	絶対値	円 / t	売上高 / 化学物質購入量
		資源投入効率	電気機器	売上高	資源投入量	絶対値	円 / t	売上高 / (材料総使用量 - 再生材使用量 - 自然循環可能材使用量)
		化学物質効率	電気機器	売上高	化学物質使用量	絶対値	円 / t	売上高 / (大気・水域・土壌への排出量 + 廃棄物としての移動量 + 製品含有量 - 回収製品含有量)
	水	水効率	電気機器	売上高	水使用量	絶対値	円 / m <sup>3</sup>	売上高 / (水購入量 + 地下水汲み上げ量)
		環境効率性指標 (工事段階でのCO <sub>2</sub> 排出量)	建設	施工高	工事段階でのCO <sub>2</sub> 排出量	絶対値	百万円 / t-CO <sub>2</sub>	施工高 / 工事段階でのCO <sub>2</sub> 排出量
	温室効果ガス	地球温暖化防止に係る環境効率	医薬品	付加価値	CO <sub>2</sub> 排出量	絶対値	億円 / 万 t	(営業利益 + 研究開発費) / CO <sub>2</sub> 排出量
		環境効率指標 (CO <sub>2</sub> )	非鉄金属	売上高	CO <sub>2</sub> 排出量	絶対値	百万円 / t	売上高 / 環境負荷総量 (CO <sub>2</sub> )
		CO <sub>2</sub> 排出量当たりの売上高	電気機器	売上高	CO <sub>2</sub> 排出量	絶対値	円 / t	売上高 / (エネルギー使用量 × CO <sub>2</sub> 排出係数)
		温室効果ガス効率	電気機器	売上高	CO <sub>2</sub> 排出量	絶対値	円 / t-CO <sub>2</sub>	売上高 / (事業所のGHG総排出量 + 製品使用時のCO <sub>2</sub> 総排出量 - GHG排出削減貢献量)
		環境負荷利益率	電気機器	売上利益	排出量	絶対値	億円 / t	売上総利益 / 環境負荷項目別の排出量
	自動車生産によるCO <sub>2</sub> 指標	輸送用機器	売上高	CO <sub>2</sub> 排出量	指数	%	売上高 / CO <sub>2</sub> 排出量 (90年度を100とする)	
	大気	大気汚染物質の排出抑制に係る環境効率	医薬品	付加価値	大気排出量	絶対値	億円 / t	(営業利益 + 研究開発費) / ジクロロメタン・クロロホルム・ホルムアルデヒドの大気排出量合計
廃棄物	環境効率性指標 (建設廃棄物量)	建設	施工高	建設廃棄物量	絶対値	百万円 / t	施工高 / 建設廃棄物量	
	環境効率性指標 (最終処分量)	建設	施工高	最終処分量	絶対値	百万円 / t	施工高 / 最終処分量	
	環境効率性指標 (建設廃棄物処理費)	建設	施工高	建設廃棄物処理費	絶対値	%	施工高 / 建設廃棄物処理費	
	廃棄物総排出量に係る環境効率	医薬品	付加価値	廃棄物総排出量	絶対値	億円 / t	(営業利益 + 研究開発費) / 廃棄物総排出量	
	廃棄物最終埋立処分量に係る環境効率	医薬品	付加価値	廃棄物最終埋立処分量	絶対値	億円 / t	(営業利益 + 研究開発費) / 廃棄物最終埋立処分量	
	環境効率指標 (廃棄物量)	非鉄金属	売上高	廃棄物量	絶対値	億円 / t	売上高 / 環境負荷総量 (廃棄物量)	
	廃棄物発生量当たりの売上高	電気機器	売上高	廃棄物発生量	絶対値	円 / t	売上高 / 廃棄物発生量	
	資源排出効率	電気機器	売上高	廃棄物量	絶対値	円 / t	売上高 / (事業所からの最終廃棄物量 + 製品総出荷量 - 再品等回収用)	
自動車生産による廃棄物指標	輸送用機器	売上高	廃棄物発生量	指数	%	売上高 / 廃棄物発生量 (90年度を100とする)		
環境負荷	環境負荷利用率 (EE値)	電気機器	売上高	環境負荷量	指数	億円 / トン-	売上高 / 環境負荷量 (CO <sub>2</sub> ) (環境負荷量に対して得られる付加価値 (売上高) を)	
環境効率	電力・ガス	製品・サービス価値	環境影響	指数	%	製品・サービス価値 / 環境影響 (製品・サービス価値 = 製品の量・提供されたサービスの量、売上高、収益性; 環境影響 = エネルギー等の消費量、温室効果ガス排出量、大気汚染物質排出量、廃棄物排出量)		
単位製品・サービス価値当たりの環境負荷	電力の使用量 (生産時)	食料品	電力使用量	生産量	絶対値	kWh / kl	電力使用量 / 生産量	
	燃料の使用量 (生産時)	食料品	燃料使用量	生産量	絶対値	GJ / kl	燃料使用量 / 生産量	
	環境負荷集約度 (エネルギー使用量)	食料品	エネルギー使用量	付加価値	指数		エネルギー使用量 / 付加価値 (= 営業利益 + 労務費 + 減価償却費)	
	燃料使用量	食料品	燃料使用量	生産量	絶対値	l / kl	燃料使用量 / 生産量 (kl)	
	電力使用量	食料品	電力使用量	生産量	絶対値	kWh / h	電力使用量 / 生産量 (kl)	
	エネルギー消費原単位	化学	エネルギー消費量	生産量	絶対値	kl / t	エネルギー消費量 (原油換算) / 生産量 (エチレン換算)	
	付加価値原単位指数	化学	エネルギー使用量	付加価値生産高	指数		エネルギー使用量 (原油換算) / 付加価値生産高 (= 売価ベースでの生産高 - 製造変動費) (90年度を100とする)	
	エネルギー使用量の生産売上高原単位	化学	エネルギー使用量	生産売上高	指数		エネルギー使用量 / 生産売上高 (98年度を100とする)	
	エネルギー使用量生産原単位	化学	エネルギー使用量	生産量	指数	%	エネルギー使用量 / 生産量	
	エネルギー原単位	医薬品	エネルギー消費量	売上高	絶対値	千GJ / 百億円	エネルギー消費量 / 売上高	
	エネルギー原単位	石油・石炭	エネルギー使用量	処理量	絶対値	kl-原油 / 千kl	エネルギー使用量 (原油換算) / 原油換算処理量	
	エネルギー消費原単位	石油・石炭	エネルギー消費量	原油換算処理量	絶対値	kl-原油 / 千kl	総エネルギー使用量 / 原油換算処理量	
	原油換算エネルギー使用量生産高原単位	ゴム製品	エネルギー使用量	生産高	絶対値	kl / 百万円	燃料使用量 / 生産高 × 100	
	エネルギー原単位	ガラス・土石製	エネルギー使用量	生産量	絶対値	kl / t	エネルギー使用量 / 生産量	
	エネルギー原単位	鉄鋼	エネルギー使用量	サイト生産品売上高	指数		エネルギー使用量 / サイト生産品売上高	
	粗鋼1トン当たりのエネルギー消費量	鉄鋼	エネルギー消費量	粗鋼量	絶対値	GJ / t-S	エネルギー消費量 / 粗鋼量	
	エネルギー原単位削減率	非鉄金属	エネルギー削減量	当該年度生産量 × 全年度原油換算エネルギー原単位	指数	%	{1 - 当該年度の原油換算エネルギー使用量 / (当該年度を生産量 × 前年度原油換算エネルギー原単位)} × 100	
	生産エネルギー原単位	機械	生産エネルギー使用量	生産額	絶対値	t-CO <sub>2</sub> / 億円	生産エネルギー使用量 / 生産額	
エネルギー使用量 (生産金額原単位)	機械	エネルギー使用量	1990年度エネルギー使用量生産金額原単位	指数	%	該当年度エネルギー使用量生産金額原単位 / 1990年度エネルギー使用量生産金額原単位		
総エネルギー消費量 (生産高原単位) の推移	電気機器	エネルギー消費量	生産量	指数	%	総エネルギー消費量 / 売上高		

分類	指標名	業種	分子	分母	表示方法	単位	算出式	
エネルギー消費	総エネルギー消費量(売上高原単位)の推移	電気機器	エネルギー消費量	売上高	指数	%	総エネルギー消費量/生産高	
	エネルギー消費量原単位	その他製品	エネルギー消費量	付加価値額	絶対値	TJ/億円	エネルギー消費量(TJ)/付加価値額(億円)(TJ=テラジュール:10の12乗)	
	輸送用燃料使用量原単位	その他製品	燃料使用量	売上高	絶対値	kl/億円	燃料使用量/売上高	
	売上高当たりエネルギー使用量	小売業	エネルギー使用量	売上高	絶対値	MJ/100万円	エネルギー使用量/売上高	
	1m <sup>2</sup> ・1営業時間当たりの電気使用量	小売業	電気使用量	面積×営業時間	絶対値	Wh/m <sup>2</sup> ・h	電気使用量/店舗面積×営業時間	
	1m <sup>2</sup> ・1営業時間当たりのガス使用量	小売業	ガス使用量	面積×営業時間	絶対値	m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・h	ガス使用量/店舗面積×営業時間	
	1m <sup>2</sup> ・1営業時間当たりの電気使用量	小売業	電気使用量	面積×営業時間	絶対値	Wh/m <sup>2</sup> ・h	電気使用量/店舗面積×営業時間	
	1m <sup>2</sup> ・1営業時間当たりのガス使用量	小売業	ガス使用量	面積×営業時間	絶対値	m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・h	ガス使用量/店舗面積×営業時間	
	1m <sup>2</sup> ・1営業時間当たりの重油使用量	小売業	重油使用量	面積×営業時間	絶対値	L/m <sup>2</sup> ・h	重油使用量/店舗面積×営業時間	
	単位輸送量あたり列車運転用消費エネルギー	陸運	エネルギー消費量	輸送量	絶対値	MJ/車キロ	エネルギー消費量/輸送量	
資源	貨物取り扱い量当たりの電気エネルギー消費量	陸運	電気エネルギー消費量	貨物取り扱い量	絶対値	kWh/t	電気エネルギー消費量/貨物取り扱い量	
	燃料消費1リッター当たりの走行距離	陸運	走行距離	燃料消費量	絶対値	km/L	走行距離/燃料消費量	
	ガス製造量あたりのエネルギー使用量	電気・ガス	エネルギー使用量	ガス製造量	絶対値	kL/百万m <sup>3</sup>	エネルギー消費量(原油換算)/都市ガス13A製造量	
	熱販売量あたりのエネルギー使用量	電気・ガス	エネルギー使用量	熱販売量	絶対値	L/GJ	エネルギー消費量(原油換算)/熱販売量	
	売上高当たり容器包装使用量	小売業	容器包装使用量	売上高	絶対値	kg/100万円	容器包装使用量/売上高	
	商品1万点当たりのトレイ使用量	小売業	トレイ総使用量	商品点数	絶対値	kg/万点	トレイ使用量/商品点数	
	1店舗当たりレジ用包装材使用量	小売業	食品用レジ袋数	店舗	絶対値	万枚/店	食品用レジ袋数/店舗数	
	水利用	用水の使用量(生産時)	食料品	水使用量	生産量	絶対値	m <sup>3</sup> /kl	水使用量/生産量
		環境負荷集約度(用水使用量)	食料品	水使用量	付加価値	指数		水使用量/付加価値(=営業利益+労務費+減価償却費)
		水使用量	食料品	水使用量	生産量	絶対値	m <sup>3</sup> /kl	水使用量/生産量(kl)
付加価値原単位指数		化学	水消費量	付加価値生産高	指数		水使用量/付加価値生産高(=売価ベースでの生産高-製造変動費)(90年度を100とする)	
水資源使用量(売上高原単位)推移		電気機器	水使用量	売上高	指数	%	水資源使用量/売上高	
水当り水使用量		輸送用機器	水使用量	生産台数	絶対値	m <sup>3</sup> /台	水使用量/生産台数	
1m <sup>2</sup> ・1営業時間当たりの水道使用量		小売業	水道使用量	面積×営業時間	絶対値	L/m <sup>2</sup> ・h	水道使用量/店舗面積×営業時間	
1m <sup>2</sup> ・1営業時間当たりの水道使用量		小売業	水道使用量	面積×営業時間	絶対値	m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・h	水道使用量/店舗面積×営業時間	
温室効果ガス		単位施工高当たりCO <sub>2</sub> 排出量	建設	CO <sub>2</sub> 排出量	施工高	絶対値	t-CO <sub>2</sub> /百万円	CO <sub>2</sub> 排出量/施工高
		CO <sub>2</sub> 排出量(生産時)	食料品	CO <sub>2</sub> 排出量	生産量	絶対値	kg-CO <sub>2</sub> /kl	CO <sub>2</sub> 排出量(生産時)/生産量
	CO <sub>2</sub> 排出量	食料品	CO <sub>2</sub> 排出量	生産量	絶対値	kg/kl	CO <sub>2</sub> 排出量/生産量(kl)	
	環境負荷集約度(CO <sub>2</sub> 排出量)	食料品	CO <sub>2</sub> 排出量	付加価値	指数		CO <sub>2</sub> 排出量/付加価値(=営業利益+労務費+減価償却費)	
	CO <sub>2</sub> 排出量生産原単位	化学	CO <sub>2</sub> 排出量	生産量	指数	%	CO <sub>2</sub> 排出量/生産量	
	炭酸ガスの生産売上高原単位	化学	炭酸ガス排出量	生産売上高	指数		炭酸ガス排出量/生産売上高(98年度を100とする)	
	CO <sub>2</sub> 排出量原単位	医薬品	CO <sub>2</sub> 排出量	売上高	絶対値	t/億円	CO <sub>2</sub> 排出量/売上高	
	原油換算処理量当りのCO <sub>2</sub> 排出量	石油・石炭	CO <sub>2</sub> 排出量	原油換算処理量	絶対値	kg/kl	CO <sub>2</sub> 排出量/原油換算処理量(原油換算処理量とは各装置の処理量を常圧蒸留装置での処理量に換算した値)	
	CO <sub>2</sub> 原単位	石油・石炭	CO <sub>2</sub> 排出量	処理量	絶対値	t-CO <sub>2</sub> /千kl	CO <sub>2</sub> 排出量/原油換算処理量	
	二酸化炭素排出量生産高原単位	ゴム製品	二酸化炭素排出量	生産高	絶対値	トン-C/百万	二酸化炭素排出量/生産高×1.00	
環境経営指標	CO <sub>2</sub> 排出量の推移	ガラス・土石製	CO <sub>2</sub> 排出量	1990年CO <sub>2</sub> 排出量	指数	%	該当年CO <sub>2</sub> 排出量/1990年度CO <sub>2</sub> 排出量	
	粗鋼1トン当たりのCO <sub>2</sub> 排出量	鉄鋼	CO <sub>2</sub> 排出量	粗鋼量	絶対値	t-CO <sub>2</sub> /t-S	CO <sub>2</sub> 排出量/粗鋼量	
	CO <sub>2</sub> 排出量生産原単位推移	電気機器	CO <sub>2</sub> 排出量	生産量	指数	%	CO <sub>2</sub> 排出量/生産高	
	CO <sub>2</sub> 排出量売上高原単位1990年度比	電気機器	CO <sub>2</sub> 排出量	売上高	指数	%	各年度CO <sub>2</sub> 排出量売上高原単位/1990年度CO <sub>2</sub> 排出量売上高原単位	
	売上高当たりCO <sub>2</sub> 排出量	輸送用機器	CO <sub>2</sub> 排出量	売上高	絶対値	t/億円	CO <sub>2</sub> 排出量/売上高	
	売上高当りのCO <sub>2</sub> 排出量	輸送用機器	CO <sub>2</sub> 排出量	売上高	絶対値	t/億円	CO <sub>2</sub> 排出量/売上高	
	CO <sub>2</sub> 排出量原単位	その他製品	CO <sub>2</sub> 排出量	輸送トンキロ	絶対値	トン-CO <sub>2</sub> /百万トン・km	CO <sub>2</sub> 排出量/輸送トンキロ(輸送トンキロ=(貨物量×走行距離))	
	環境経営指標	陸運	CO <sub>2</sub> 排出量	営業利益	絶対値	t-CO <sub>2</sub> /億円	CO <sub>2</sub> 排出量/営業利益	
	自営火力発電所の単位発電量あたりCO <sub>2</sub> 発生量	陸運	CO <sub>2</sub> 発生量	自家発電量	絶対値	g-CO <sub>2</sub> /kWh	CO <sub>2</sub> 発生量/自営火力発電所の発電量	
	単位輸送量当たりCO <sub>2</sub> 排出量(90年度比)	海運	CO <sub>2</sub> 排出量	輸送量	指数	%	(CO <sub>2</sub> 排出量/輸送量)/90年度基準値×100	
原単位当たりCO <sub>2</sub> 推定排出量	空運	CO <sub>2</sub> 推定排出量	有効トンキロ(ATK)	絶対値	g-CO <sub>2</sub> /ATK	CO <sub>2</sub> 推定排出量/有効トンキロ		
ガス販売量当たりCO <sub>2</sub> 排出量	電気・ガス	CO <sub>2</sub> 排出量	ガス販売量	絶対値	g-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量/ガス販売量		

単位製品・サービス価値当たりの環境負荷

分類	指標名	業種	分子	分母	表示方法	単位	算出式
温室効果ガス	ガス製造量あたりのCO <sub>2</sub> 排出量	電気・ガス	CO <sub>2</sub> 排出量	ガス製造量	絶対値	g-CO <sub>2</sub> / m <sup>3</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量 / 都市ガス13A製造量
	環境保全効率	電気・ガス	CO <sub>2</sub> 排出抑制量	ガス販売量	絶対値	g-CO <sub>2</sub> / m <sup>3</sup>	(事業活動伝のCO <sub>2</sub> 排出抑制量 + お客さま先でのCO <sub>2</sub> 排出抑制量) / ガス販売量
	使用電力量当たりCO <sub>2</sub> 排出量	電気・ガス	CO <sub>2</sub> 排出量	使用電力量	絶対値	kg-CO <sub>2</sub> / kWh	CO <sub>2</sub> 排出量 / 電力使用量
	熱販売量あたりのCO <sub>2</sub> 排出量	電気・ガス	CO <sub>2</sub> 排出量	熱販売量	絶対値	kg-CO <sub>2</sub> / GJ	CO <sub>2</sub> 排出量 / 熱販売量
大気への排出	NOx排出量(生産時)	食料品	NOx排出量	生産量	絶対値	kg / kl	NOx排出量(生産時) / 生産量
	SOx排出量(生産時)	食料品	SOx排出量	生産量	絶対値	kg / kl	SOx排出量(生産時) / 生産量
	SOx排出量	食料品	SOx排出量	生産量	絶対値	g / kl	SOx排出量 / 生産量(kl)
	NOx排出量	食料品	NOx排出量	生産量	絶対値	g / kl	NOx排出量 / 生産量(kl)
	付加価値原単位指数	化学	NOx排出量	付加価値生産高	指数		NOx排出量 / 付加価値生産高(=売価ベースでの生産高 - 製造変動費)(90年度を100とする)
	付加価値原単位指数	化学	SOx排出量	付加価値生産高	指数		SOx排出量 / 付加価値生産高(=売価ベースでの生産高 - 製造変動費)(90年度を100とする)
	付加価値原単位指数	化学	ばいじん排出量	付加価値生産高	指数		ばいじん排出量 / 付加価値生産高(=売価ベースでの生産高 - 製造変動費)(90年度を100とする)
	NOx排出量原生産単位	化学	NOx排出量	生産量	指数	%	NOx排出量 / 生産量
	SOx排出量原生産単位	化学	SOx排出量	生産量	指数	%	SOx排出量 / 生産量
	単位輸送量当たりNOx排出量(90年度比)	海運	NOx排出量	輸送量	指数	%	(NOx排出量 / 輸送量) / 90年度基準値 × 100
	単位輸送量当たりSOx排出量(90年度比)	海運	SOx排出量	輸送量	指数	%	(SOx排出量 / 輸送量) / 90年度基準値 × 100
	ガス販売量当たりNOx排出量	電気・ガス	NOx排出量	ガス販売量	絶対値	mg / m <sup>3</sup>	NOx排出量 / ガス販売量
	ガス製造量あたりのNOx排出量	電気・ガス	NOx排出量	ガス製造量	絶対値	mg / m <sup>3</sup>	NOx排出量 / 都市ガス13A製造量
	発電電力量当たりNOx排出量	電気・ガス	NOx排出量	発電電力量	絶対値	g / kWh	NOx排出量 / 発電電力量
発電電力量当たりSOx排出量	電気・ガス	SOx排出量	発電電力量	絶対値	g / kWh	SOx排出量 / 発電電力量	
熱販売量あたりのNOx排出量	電気・ガス	NOx排出量	熱販売量	絶対値	g / GJ	NOx排出量 / 熱販売量	
化学物質	削減対象物質の生産売上高原単位	化学	排出・移動量	生産売上高	指数		削減対象物質の排出・移動量 / 生産売上高(98年度を100とする)
	ボディ面積当たりVOC排出量	輸送用機器	VOC排出量	面積	絶対値	g / m <sup>2</sup>	VOC排出量 / ボディ面積
	塗装面積当たりのVOC排出量	輸送用機器	VOC排出量	塗装面積	絶対値	g / m <sup>2</sup>	VOC排出量 / 塗装面積
	VOC排出量	輸送用機器	VOC排出量	塗装面積	絶対値	g / m <sup>2</sup>	VOC排出量 / 塗装面積
廃棄物	建築(新築)工事での混合廃棄物排出量	建設	混合廃棄物排出量	延床面積	絶対値	kg / m <sup>2</sup>	混合廃棄物排出量 / 延床面積
	環境負荷集約度(副産物・廃棄物発生量)	食料品	副産物・廃棄物発生量	付加価値	指数		副産物・廃棄物発生量 / 付加価値(=営業利益 + 労務費 + 減価償却費)
	廃棄物の生産売上高原単位	化学	廃棄物総発生量	生産売上高	指数		廃棄物総発生量 / 生産売上高(98年度を100とする)
	廃棄物の生産売上高原単位	化学	廃棄物総発生量	生産売上高	指数		廃棄物総発生量 / 生産売上高(98年度を100とする)
	資源ロス	輸送用機器	副産物発生量	出荷額	絶対値	t / 億円	副産物発生量 / 出荷額
	売上高当たり廃棄物量	小売業	廃棄物量	売上高	絶対値	kg / 100万円	非リサイクル廃棄物量 / 売上高
	1店舗当たり廃棄物量	小売業	廃棄物量	店舗数	絶対値	t / 店	廃棄物量 / 店舗数
	1店舗当たりリサイクル量	小売業	リサイクル量	店舗数	絶対値	t / 店	リサイクル量 / 店舗数
	1店舗当たりの平均容器回収量	小売業	回収容器数	店舗数	絶対値	本 / 店	本数 / 店舗数
	貨物取り扱い量当たりの廃棄物排出量	陸運	廃棄物排出量	貨物取り扱い量	絶対値	kg / t	廃棄物排出量 / 貨物取り扱い量
	産業廃棄物排出量	電気機器	廃棄量	出荷高	指数	%	廃棄量 / 出荷高
固形廃棄物	電気機器	廃棄量	出荷高	指数	%	廃棄量 / 出荷高	
廃棄物排出量原単位	その他製品	廃棄物排出量	生産高	絶対値	トン / 億円	廃棄物排出量 / 生産高(原単位の敬さんで用いる“生産高”は事業活動量を示しており、DNPグループ合計の付加価値額を使用)	
クリルサイ	リユースびん回収率	小売業	回収量	販売数	指数	%	回収量 / 販売量
	飲料用紙パック回収率	小売業	回収量	販売数	指数	%	回収量 / 販売量
	ABパック回収率	小売業	回収重量	販売量	指数	%	回収量 / 販売量
	商品案内回収率	小売業	回収量	配布量	指数	%	回収量 / 配布量
	排水発生量(生産時)	食料品	排水量	生産量	絶対値	m <sup>3</sup> / kl	排水発生量(生産時) / 生産量(kl)
排水	付加価値原単位指数	化学	排水量	付加価値生産高	指数		排水量 / 付加価値生産高(=売価ベースでの生産高 - 製造変動費)(90年度を100とする)
	付加価値原単位指数	化学	COD排出量	付加価値生産高	指数		COD排出量 / 付加価値生産高(=売価ベースでの生産高 - 製造変動費)(90年度を100とする)
	ガス販売量当たりCOD排出量	電気・ガス	COD排出量	ガス販売量	絶対値	mg / m <sup>3</sup>	COD排出量 / ガス販売量
輸送	CO <sub>2</sub> 排出量(物流時)	食料品	CO <sub>2</sub> 排出量	生産量	絶対値	kg-CO <sub>2</sub> / kl	CO <sub>2</sub> 排出量(工場から卸店等に係る物流) / 生産量(kl)
	NOx排出量(物流時)	食料品	NOx排出量	生産量	絶対値	kg / kl	NOx排出量(工場から卸店等に係る物流) / 生産量(kl)
	SOx排出量(物流時)	食料品	SOx排出量	生産量	絶対値	kg / kl	SOx排出量(工場から卸店等に係る物流) / 生産量(kl)
	物流環境負荷管理指標	食料品	走行距離	販売量	絶対値	km / kl	総走行距離 / 販売数量
	売上高当たり物流燃料使用量	小売業	物流燃料使用量	売上高	絶対値	L / 100万円	物流燃料使用量 / 売上高
	1000ケース当たりの軽油使用量	小売業	軽油使用量	物流量	絶対値	千L / 1000ケース	物流燃料使用量 / 全商品量

単位製品・サービス価値当たりの環境負荷

分類	指標名	業種	分子	分母	表示方法	単位	算出式
リサイクル等	リサイクル率	建設	リサイクル量	発生量	指数	%	$\{ (減量化量 + 再使用量) / 発生量 \} \times 100$
	容器包装に占めるリサイクル原料比率	食料品	リサイクル原料量	容器包装使用量	指数	%	リサイクル原料使用量 / 容器包装使用量 (重量 t)
	工場廃棄物 (再資源化率)	食料品	再資源化されない廃棄物量	廃棄物量	指数	%	再資源化されない廃棄物量 / 工場廃棄物
	容器包装の再資源化率	食料品	再資源化量	廃棄物量	指数	%	容器包装再資源化量 / 容器包装廃棄物量
	再資源化率	食料品	再資源化物量	産業廃棄物量	指数	%	$\{ (有価物量 + 産業廃棄物のうち再資源化した量 + 自社内再利用) / 産業廃棄物 \}$
	再資源化率	繊維製品	再資源化量	再資源化物 + 廃棄物	指数	%	再資源化物 / (再資源化物 + 廃棄物) $\times 100$
	製品重量当たり廃棄物発生量	パルプ・紙	廃棄物発生量	製品重量	絶対値	%	廃棄物発生量 / 製品生産重量
	省エネ率	化学	省エネ量	1999年度総量	指数	%	省エネ量(kl) / 1999年度総量(kl)
	ゼロエミッション率	非鉄金属	焼却・埋立廃棄物量	廃棄物発生量	指数	%	$(単純焼却廃棄物排出量 + 埋立廃棄物排出量) / 廃棄物発生量 \times 100$ ( 廃棄物発生量 = 産業廃棄物量 + 一般廃棄物量 + 社内焼却量 )
	リサイクル率	非鉄金属	リサイクル量	故電線・ケーブル解体重量	指数	%	リサイクル重量 / 故電線・ケーブル解体重量 $\times 100$
	モーダルシフト率	非鉄金属	鉄道・船舶使用輸送金額	総輸送金額	指数	%	鉄道・船舶を使用した輸送金額 / 総輸送金額 $\times 100$
	再資源化率	金属製品	再資源化量	産業廃棄物総排出量	指数	%	再資源化量 / 産業廃棄物総排出量
	リサイクル率	電気機器	再資源化物量	廃棄物量	指数	%	再資源化物量 / (再資源化物量 + 最終処分量)
	再資源化率	電気機器	再資源化された量	使用済み製品の回収量	絶対値	%	$(リユース、マテリアルリサイクル、サーマルリサイクルされた物の重量) / 回収された使用済み情報通信機器の重量$
	資源再利用率	電気機器	再生資源として利用できる量	使用済み製品の回収量	絶対値	%	$(再生部品もしくは再生資源として利用することができる状態にした物の重量) / 回収された使用済み情報通信機器の重量$
	資源再利用率	電気機器	再資源化量	使用済み製品の処理量	指数	%	再生部品・再生資源の重量 / 使用済み製品の処理量 ( (社) 電子情報技術産業協会で示された算定方法に基づく )
	再資源化率	輸送用機器	再資源化量	発生量	指数	%	$(社内再利用量 + 売却 + 無償・逆有償) / 発生量 \times 100$
	リサイクル率	その他製品	リサイクル量	不要物総発生量	指数	%	リサイクル量 / 不要物総発生量 $\times 100$
	リサイクル率	卸売業	リサイクル量	廃棄物排出量	指数	%	リサイクル量 / 廃棄物排出量
	リサイクル率	小売業	リサイクル量	廃棄物量	指数	%	リサイクル量 / 店舗・物流センターにおける廃棄物等発生量
	リサイクル率	通信	リサイクル量	処分量	指数	%	リサイクル量 / 処分量
	建設工事廃棄物の再資源化率	通信	再資源化量	排出量	指数	%	再資源化量 / 排出量
	建設工事発生土の再資源化率	通信	再資源化量	排出量	指数	%	再資源化量 / 排出量
	排水リサイクル率	サービス	リサイクル量	総汚水量	指数	%	リサイクル量 / 総汚水量
	一般廃棄物リサイクル率	サービス	リサイクル量	総廃棄物量	指数	%	リサイクル量 / 総廃棄物量
コスト効率	環境コスト比率	建設	環境保全コストの総額	施工高	指数	%	環境保全コスト総額 / 施工高
	産業廃棄物処理コスト比率	建設	産業廃棄物処理コスト	施工高	指数	%	産業廃棄物処理コスト / 施工高
	環境関連研究開発コスト比率	建設	環境関連研究開発コスト	全ての研究開発コスト	指数	%	環境関連研究開発コスト / 全ての研究開発コスト
	環境改善効率	食料品	原単位物量効果	削減のために要した費用	指数		$(前年原単位 - 当年原単位) \times 当年生産量 / 当該物質削減のために要した費用$
	総合環境負荷改善効率	機械	環境負荷低減効果	環境保全コスト	指数	EIP / 円	環境負荷低減効果 / 環境保全コスト
	環境効果率	電気機器	環境効果	コスト	絶対値	円 / 円	環境効果 (経済効果総額 + 社会コスト削減総額) / 環境保全コスト総額
	環境収益率	電気機器	経済効果	コスト	絶対値	円 / 円	経済効果総額 / 環境保全コスト総額
	環境改善効率	電気機器	物量削減量	コスト	絶対値	t / 億円	環境負荷項目別の物量削減量 / 環境保全コスト
	環境改善指数	電気機器	削減量	コスト	絶対値	-	環境負荷削減総量 / 環境保全コスト総額
	生産時のエネルギー使用量削減	電気機器	省エネルギー量	コスト	絶対値	kWh / 億円	生産時のエネルギー使用量の削減量 / エネルギー使用削減コスト
	生産時の廃棄物最終処分量削減	電気機器	廃棄物最終処分量削減	コスト	絶対値	t / 億円	生産時の廃棄物最終処分量削減量 / 廃棄物最終処分量削減コスト
	環境負荷改善率 (EI値)	電気機器	環境負荷低減効果	環境保全に関わる費用	指数	トン-CO <sub>2</sub> / 億円	環境負荷低減効果 / 環境保全に関わる費用1億円当たりどれだけ環境負荷量 (CO <sub>2</sub> ) を低減させたか
	燃料削減率	その他製品	削減量	燃料使用量	指数	%	燃料削減量 / 2000年度燃費換算での燃料使用量 $\times 100$
	MCVA	卸売業					事業収益 - 資本コスト (当該ビジネスの収益がリスクに見合ったリターンをあげているか、すなわち資本コストをカバーしているかを示す指標)
	サステナビリティ貢献指標	証券・商品先物	社会関連コスト	環境・社会事業収益・環境・社会事業コスト	指数	%	社会関連コスト / (環境・社会事業収益 - 環境・社会事業コスト) ( 社会関連コスト = 社内向けコスト、コミュニケーションコストを除く )
業界におけるエコファンドのシェア	証券・商品先物	エコファンド純資産額	業界全体エコファンド純資産額	指数	%	エコファンド純資産額 / 業界全体エコファンド合計純資産額	

ここにあげた事例は各社の環境報告書に記載されている内容を転記したものです。

## 2. 異なる環境負荷指標を統合した指標の活用事例

指標名	業種	算定式	統合化手法	統合化対象
環境負荷削減 緑字	食料品	重み付けした環境負荷改善率	基準年度比改善率を市民の意見を反映した「重み付け値」により加重平均する	原材料、非リサイクル素材容器包装品、用水、電力、燃料、排水、CO <sub>2</sub> 、NO <sub>x</sub> 、SO <sub>x</sub> 、消費後リサイクルされない容器包装品、事務活動の電力、事務活動のコピー用紙、事務用品のグリーン購入、環境配慮型製品の販売
AGE (エイジ)	食料品	環境負荷総量	資源環境技術総合研究所(現産業技術総合研究所)との共同開発手法	CO <sub>2</sub> 、HFCs、SO <sub>x</sub> 、NO <sub>x</sub> 、重金属など
統合環境負荷利用率	機械	付加価値額(生産金額)/環境負荷量(EIP)	スイスで法制化されている規制内容を反映した環境影響評価指標(BUWAL SR297)をベースにした統合化	未公表
エコバランス	電気機器	エコポイント	エコインディケータ99	未公表
環境負荷利益指数	電気機器	売上利益/環境負荷総量	未公表(PRTRは自主基準)	CO <sub>2</sub> 、SO <sub>x</sub> 、NO <sub>x</sub> 、BOD、廃棄最終処分量、PRTR対象物質排出量
環境負荷売上指数	電気機器	売上高/環境負荷総量	未公表(PRTRは自主基準)	CO <sub>2</sub> 、SO <sub>x</sub> 、NO <sub>x</sub> 、BOD、廃棄最終処分量、PRTR対象物質排出量
環境効率ファクターX	電気機器	評価製品の環境効率/基準製品の環境効率	ファクターX	資源の有効活用、エネルギーの効率利用、環境リスク物質の排出回避
みなし効果	電気機器	環境負荷削減量(金額換算)(実質効果とみなし効果の合計)	環境基準とACGIH-TLV(米国産業衛生専門家会議で定めた物質ごとの許容濃度)をもとにカドミウム換算した物質音の重み付けを行いカドミウム公害賠償費用を乗じて金額を算出	実質効果(CO <sub>2</sub> 、用水、廃棄物最終処分量)、みなし効果(BOD、フッ素、全窒素、ばいじん、NO <sub>x</sub> 、SO <sub>x</sub> 、その他)
環境効率指標	電力・ガス	売上高/環境負荷総量	エコインディケータ99	環境負荷物質(CO <sub>2</sub> 、SO <sub>x</sub> 、NO <sub>x</sub> 、ばいじん、フロン)、資源消費(石炭、重油、原油、LNG-LPG)
環境負荷利益率	電力・ガス	営業利益/重み付けした環境負荷	未公表	CO <sub>2</sub> 、SF <sub>6</sub> 、SO <sub>x</sub> 、NO <sub>x</sub> 、産業廃棄物など、削減対象となる物質の排出量

ここにあげた事例は各社の環境報告書に記載されている内容を転記したものです。